

特定商業施設要綱に基づく届出について

1 新設届出書の作成について

新設届出書の作成については、下記の点に注意して作成してください。

- ・新設届出書は所定の様式（第1号様式）を使用し、設置者の印鑑（法人の場合は代表者印）を押印してください。
- ・新設届出書と添付書類をA4判に折りたたみ、左側にホチキス止め（2ヶ所）してください。

2 店舗面積の定義について

店舗面積の定義は、次の表のとおりです。（凡例、○：店舗面積に含む ×：店舗面積に含まない）

名称	定義	店舗の種類			
		小売店	飲食店	興行場	音楽・映像記録物賃貸業を営む施設
売場	直接物品販売の用に供する部分をいう。ショーケース等直接物品販売の用に供する施設に隣接し、顧客が商品の購入又は商品の選定等のために使用する部分（壁等により売場と明確に区切られていない売場間通路を含む。）は売場とみなす。				
ショーウィンドー	ショーウィンドーは、店舗面積に含む。ただし、階段の壁に設けられたはめ込み式のショーウィンドーは、店舗面積に含まない。				
ショールーム等	ショールーム、モデルルーム等の商品の展示又は実演の用に供する施設をいい、店舗面積に含む。				
サービス施設	手荷物一時預かり所、買い物品発送等承り所、買い物相談所、店内案内所その他顧客に対するサービス施設をいい、店舗面積に含む。				
物品加工修理場のうち顧客から引受（引渡を含む。）の用に直接供する部分	カメラ、時計、眼鏡、靴、その他の物品の加工又は修理の顧客からの引受（加工又は修理のための物品の引渡を含む。）の用に直接供する部分をいい、店舗面積に含む。当該部が加工又は修理を行う場所と間仕切り等で区分されていないものであるときは、その全部を店舗面積に含む。				
客席	客席は、店舗面積に含む。				
売場（レンタル）	直接音楽・映像記録物の賃貸業の用に供する部分をいう。ショーケース等直接レンタル業の用に供する施設に隣接し、顧客が商品の借入又は商品の選定等のために使用する部分（壁等により売場と明確に区切られていない売場間通路を含む。）は売場とみなす。				
階段	上り階段及び下り階段とも最初の段鼻（踏み面の先端）の線で区分し、踊り場及び階段と階段にはさまれた吹抜きの部分を含むものをいい、店舗面積に含まない。また、階段の周辺に防火用のシャッター等がある場合は、当該シャッター等と最初の段鼻、壁、柱等によって囲まれる部分は、当該部分を直接小売業（飲食業等）の用に供さないことを前提に階段部分とみなし、店舗面積に含まない。	×	×	×	×
エスカレーター	エスカレーター装置（付属部分を含む。）部分をいい、店舗面積に含まない。また、エスカレーターの周辺に防火用のシャッター等がある場合は、当該シャッター等によって囲まれる部分及び吹き抜きの部分は、当該部分を直接小売業（飲食業等）の用に供さないことを前提にエスカレーター部分とみなし、店舗面積に含まない。	×	×	×	×
エレベーター	エレベーターの乗降口の扉の線で区分し、店舗面積に含まない。また、エレベーターの周辺に防火用のシャッター等がある場合は、当該部分を直接小売業（飲食業等）の用に供さないことを前提にエレベーター部分とみなし、店舗面積に含まない。	×	×	×	×

名 称	定 義	店舗の種類			
		小 売 店	飲 食 店	興 行 場	音 楽・映 像記 録物 質賃 業 を 営 む 施 設
売場間通路 及び連絡通路	壁等により売場や客席等と明確に区分された売場や客席等として利用し得ない通路、建物と建物を結ぶための道路等の上空に設けられた渡り廊下、地下道その他の連絡通路をいい、当該部分を直接小売業又は飲食等の用に供さないことを前提に通路とみなし店舗面積に含まない。また、上記の通路の周辺に防火用のシャッター等がある場合は、当該シャッター等によって囲まれる部分は、当該部分を直接小売業又は飲食等の用に供さないことを前提に通路とみなし、店舗面積に含まない。	×	×	×	×
文化催場	展覧会等の文化催しのための用に供し、又は供させる場所であって、間仕切り等で区分された部分をいい、店舗面積に含まない。	×	×	×	×
休憩室	客室休憩室又は喫煙室その他これに類する施設であって、間仕切り等で区分された部分をいい、店舗面積に含まない。	×	×	×	×
公衆電話室	公衆電話室であって、間仕切り等で区分された部分をいい、店舗面積に含まない。	×	×	×	×
便所	便所の出入口の線（専用の通路がある場合は、その出入口の線）で他と区分し、店舗面積に含まない。	×	×	×	×
外 商 事 務 室 等	外商ないし常得意先に対する業務のみを行う場所であって、間仕切り等で区分された部分をいい、店舗面積に含まない。	×	×	×	×
事務室・荷 扱い所・厨 房・倉庫等	事務室、荷扱い所、厨房、倉庫、機械室、従業員施設等顧客の来集を目的としない施設であって、間仕切り等で区分された部分をいい、店舗面積に含まない。	×	×	×	×
塔屋	エレベーター室、階段室、物見塔、広告塔等屋上に突き出した部分をいい、店舗面積に含まない。ただし、物品販売又は飲食等を行う部分は、売場又は客席等として取り扱うものとする。	×	×	×	×
屋上	塔屋を除いた屋上部分をいい、店舗面積に含まない。ただし、物品販売又は飲食等を行う部分は、売場又は客席等として取り扱うものとする。	×	×	×	×
はね出し 下・軒下等	建物のはね出し下、ひさし、軒下等の部分をいい、店舗面積に含まない。ただし、はね出し下等において、展示販売、ワゴン等による各種商品の販売、自動販売機を設置して飲食料品等の販売又は飲食等を行っている部分は、売場又は客席等として取り扱うものとする。	×	×	×	×

3 添付書類について

新設届出書に添付する書類は、次の要領で作成してください。

1 . 周辺案内図 < 別添 >

- ・ A 3 判（縮尺：1/2,500 程度）
- ・ 隣接地の用途現況及びまちづくり計画等の範囲がわかる図面

2 . 建物の配置図 < 別添 >

- ・ A 3 判（縮尺：1/200～500）
- ・ 店舗の用に供する部分、その他の施設、駐車場等の配置がわかる図面

3. 建物の各階平面図 < 別添 >

- ・ A 3 判 (縮尺: 1/200 ~ 500)
- ・ 各業態ごとに範囲を示した各階ごとの平面図
- ・ 店舗面積を明示する

4. 建物の立面図 < 別添 >

- ・ A 3 判 (縮尺: 1/200 ~ 500)
- ・ 外壁の意匠、材質及び色彩を表示した図面

5. 立地環境、建物の構造及び規模に関する事項を記載した書類

立地環境

設置場所の用途地域	
最寄り駅と距離	線 駅 m
周辺の状況	

- ・ 計画地の周辺環境を具体的に記載してください

建物の構造・階数

構 造	造
階 数	地上 階 地下 階 塔屋 階

店舗面積の内訳

ア 建築面積 m²

イ 延べ面積 m²

ウ 各階ごとの店舗面積、延べ面積及び収容人員

	店舗面積				その他の 施設	延べ面積	興行場の 収容人員
	小売店	飲食店	音楽・映像記 録物賃貸業を 営む施設	興行場			
	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	人
2 階							
1 階							
地下 1 階							
計							

6. 来客のための駐車場の収容台数の算出根拠を記載した書類

要綱による必要駐車台数計算式

事 項 等		各事項算出のための計算式等
L : 駅からの距離	m	(駅名)
小売店・飲食店・音楽映像記録物賃貸業		
S : 店舗面積	m ²	
A : 駐車場設置基準	m ² / 台	75 m ² / 台、50 m ² / 台
必要駐車台数 (1)	台	S ÷ A
興行場		
T : 収容人員	人	
B : 駐車場設置基準	人 / 台	50 人 / 台、30 人 / 台
必要駐車台数 (2)	台	T ÷ B
合計必要駐車台数	台	(1) + (2)

他の方法による駐車台数の算出

算出方法の説明：

必要駐車台数	台
--------	---

必要駐車台数算出根拠：

その他の駐車場の状況

「従業員等（業務用を含む）駐車場」

事 項	有無の別	当該店舗駐車場 と共用・別途の別	収容台数	備 考 (駐車台数算定の根拠等)
従業員等駐車場	有・無	共用・別途	台	(従業員数 人) (業務用車両台数 延べ 台)

「利用者層が異なる複合施設の駐車場」(オフィス、マンション、ボーリング場、スポーツ施設等)

名称	営業内容	面積	当該店舗駐車場と 共用・別途の別	必要駐車 台 数	算出根拠	収容台数
		m ²	共用・別途	台		台
		m ²	共用・別途	台		台
合 計				台		台

・当該施設の収容能力、利用時間、回転率等をもとに算出根拠を示してください

7. 来客の自動車の方向別台数の予測の結果等駐車場の出入口の数、位置及び形式を決定するために必要となる事項を記載した書類(駐車台数30台以上の場合)

駐車場の出入口の形式

ア 駐車場の入庫処理能力(発券ブースのある場合)

出入口の場所	1時間あたりの入庫処理能力	ピーク1時間に予想される来客の自動車台数
P.	台	台
P.	台	台

1時間あたり入庫処理能力

$60分 \div (\text{メーカーから提供される1台あたりの処理時間} + \text{乗客の乗降時間}) \times \text{発券ブースの台数}$

イ 敷地内駐車待ちスペース

出入口の場所	駐車待ちスペースの有・無	実際に用意する駐車待ちスペース	発券ブースの有・無	必要な駐車待ちスペース		駐車待ちスペース「無」の場合その理由・対策
				長さ	算出根拠等	
P.	有・無	m	有・無	m		
P.	有・無	m	有・無	m		

駐車待ちスペース算出根拠

$(\text{当該入口の1分あたりの来台数} \times 1.6 - \text{当該入口の1分あたりの入庫処理可能台数}) \times 6m$ (平均車頭間隔)

敷地周辺の道路の状況

周辺案内図に敷地周辺の道路の「 」を表示してください。

項目	道路 1 (道路名：)	道路 2 (道路名：)	道路 3 (道路名：)
道路幅員 (車線数)	m 車線	m 車線	m 車線
歩道の有無・幅員	有・無 m	有・無 m	有・無 m
交通規制			
信号交差点数 (うち右折帯設置 の交差点数)	交差点 (交差点)	交差点 (交差点)	交差点 (交差点)
横断歩道の状況	有・無	有・無	有・無
通学路の有無	有・無	有・無	有・無
利用者数	人	人	人
バス路線の有無	有・無	有・無	有・無

- ・ 「交通規制」欄には、交通規制の内容を記載し、「周辺案内図」にも規制内容を記入してください。
- ・ 「横断歩道等の状況」欄には、横断者の多寡及び近くの学校等公共施設名を記載してください。

来客の自動車の方向別台数の予測の結果等

ア 現状の平日、休日(日曜)それぞれの交通調査の結果

調査年月日	年 月 日 () 年 月 日 ()
調査場所	
調査の委託先	
調査方法	
調査結果	<別添資料としてください>

- ・ 調査エリアは原則として経路予定の店舗周辺最寄りの交差点
- ・ 調査時間帯は、開店から閉店までの時間帯(プラス前後1時間)
- ・ 調査内容としては車種及び時間帯別、方向別の台数を調査
- ・ 調査結果は別添資料とし、周辺案内図上に結果を図示

イ 開店後の周辺道路の交通量の予測

予測方法	
予測の根拠	
予測結果	< 別添資料としてください >

- ・ 調査エリアは原則として経路予定の店舗周辺最寄りの交差点
- ・ 調査時間帯は、開店から閉店までの時間帯（プラス前後1時間）1時間ごとの想定来店台数を入場、出場に分けて、方向別に予測し一覧表にて記載
- ・ 予測結果は別添資料とし、周辺案内図上に結果を図示

8. 来客の自動車を案内する経路を記載した書類（駐車台数30台以上の場合）

ア 来客の自動車の案内経路を表示した図面

A3判

周辺案内図に自動車の案内経路を表示する

イ 経路等を来客者に知らせる方法

項目	具体的な内容
案内表示の設置 (看板等)	(設置場所・内容等) 周辺案内図上に記載
ちらし等の配布	(配布方法・内容等)
その他	

- ・ 看板等の設置場所については、周辺案内図の中にその予定場所を記載してください。

9. 駐輪場の計画に関する事項を記載した書類

必要駐輪台数算出根拠

事 項 等		各事項算出のための計算式等
小売店・飲食店・音楽映像記録物賃貸業		
S：店舗面積	m ²	
A：駐車場設置基準	20 m ² /台	20 m ² /台
必要駐車台数(1)	台	S ÷ A
興行場		
T：収容人員	人	
B：駐車場設置基準	20人/台	20人/台
必要駐車台数(2)	台	T ÷ B
合計必要駐車台数	台	(1) + (2)

駐輪場の構造、収容台数及び面積

駐輪場 (配置図上に記載 の番号)	駐輪場構造 (平面式・立体式・機械 式の別を記載)	収容台数 (うち原付用)	面 積	駐輪区画の大きさ	
				一般用	原付用
		台 (台)	m ²	m × m	m × m

駐輪場の管理体制

項 目	
整理員等の配置	配置場所： 配置時間： 人 数：
営業時間外の管理等	

10．自動二輪駐車場の計画に関する事項を記載した書類

自動二輪駐車場 (配置図上に記載の番号)	収容台数	面 積	自動二輪駐車区画の大きさ (1台当たり)
	台	m ²	m × m
算出根拠：			

- ・自動二輪車の駐車需要が相当程度見込まれる小売店舗等にあっては、原則として、一定の区画を区分して、自動二輪車の駐車場を確保するよう努めてください。

11．交通整理員の配置や方法等に関する事項を記載した書類

項 目	具体的な内容
交通整理員の配置	(配置場所・人数・配置日時等) 周辺案内図上に記載

- ・交通整理員の配置場所については、周辺案内図の中にその予定場所を記載してください。

1 2 . 荷さばき施設の計画に関する事項を記載した書類

搬出入計画

搬出入車両の車種・大きさ	搬出入時間帯	搬出入車両数	平均的な荷捌き処理時間
t 車	時 分 ~ 時 分	台	分
ピーク時の搬出入車両の台数		台	

・ 搬出入車両の車種及び大きさごとの搬出入計画を記載してください

荷捌き施設の面積・構造

荷捌き施設 (配置図記載番号)	同時作業可能台数		待機スペースの有 無・広さ	防音等の対応
	想定する車両の大きさ	台数		
		台	有・無 (m x m)	

搬出入車両の出入口の数

専用出入口の有無	搬出入車両の出入口の数	対 応 等
無		「無」の理由
有		

1 3 . 遮音壁の位置及び高さを示す図面 (遮音壁を設置する場合)

遮音壁の有無	遮音壁の高さ	遮音壁の厚さ	材質・構造	遮音壁の位置
有・無	m	m		< 配置図に図示 >

1 4 . 冷却塔、送風機又は冷暖房設備の室外機の使用時間帯及び位置を示す図面

項 目	設置の有無	稼 働 時 間 帯	位 置
冷却塔	有・無	時 分 ~ 時 分	< 配置図に図示 >
室外機	有・無	時 分 ~ 時 分	< 配置図に図示 >
送風機	有・無	時 分 ~ 時 分	< 配置図に図示 >
その他 ()		時 分 ~ 時 分	< 配置図に図示 >

15. 平均的な状況を呈する日における等価騒音レベルの予測の結果及びその算出根拠を記載した書類

昼間の等価騒音レベルの予測

【昼間】		発生源の 高さ (m)	騒音継続時 間(時~ 時)又は騒 音発生回数	基準距離における騒音レ ベル等		予測地点までの距離 (m)				各予測地点における騒 音レベル(dB)			
騒音発生源				騒音レベル	根拠	A	B	C	D	A	B	C	D
定 常 騒 音	冷却塔												
	室外機												
	排気口												
	その他												
変 動 騒 音	自動車走行												
	荷捌きアイドリング												
	荷捌き後進ブザー												
	廃棄物収集作業												
	BGM等												
衝 撃 騒 音	荷捌き荷下ろし												
	荷捌き台車走行												
	敷地内自動車ドアの 開閉音												
昼間(午前6時~午後10時)の等価騒音レベル (予測地点の用途地域、基準値)				A地点(高さ m)		予測dB		C地点(高さ m)		予測dB			
				B地点(高さ m)		予測dB		D地点(高さ m)		予測dB			

各予測地点の地域類型及び環境基準値 地域類型 環境基準値 dB以下

予測結果の評価について _____

- ・ 騒音予測地点は、建物の周囲4方向からそれぞれ近接した最も騒音の影響を受けやすい住宅等の立地又は立地可能な屋外 A地点、B地点、C地点、D地点とし、発生源と予測地点の関係がわかるよう、別添図面に各地点を記載してください。また、高層住宅等が隣接している場合には、仮に、遮音壁を設置してもその効果の及ばない高層住宅における騒音についても予測してください。(予測式等を用いた計算は、別添資料として添付してください。)
- ・ 防音壁の設置又は、騒音発生源が屋内に設置されている場合には、当該建物の壁面等の材質・構造及び当該騒音発生源の位置及び高さがわかる図面の添付。又、遮音壁の効果の根拠等の計算内容を示してください。
- ・ 予測地点の地域類型、環境基準値を記載してください。予測地点ごとに異なる場合はそれぞれ記載してください。
- ・ 予測結果の評価を行ってください。

夜間の等価騒音レベルの予測

【夜間】		発生源 の高さ (m)	騒音継続時 間(時~ 時)又は騒 音発生回数	基準距離における騒音レ ベル等		予測地点までの距離(m)				各予測地点における騒 音レベル(dB)			
騒音発生源				騒音レベル	根拠	A	B	C	D	A	B	C	D
定常 騒音	冷却塔												
	室外機												
	排気口												
	その他												
変動 騒音	自動車走行												
	荷捌きアイドリング												
	荷捌き後進ブザー												
	廃棄物収集作業												
	BGM等												
衝 撃 騒 音	荷捌き荷下ろし												
	荷捌き台車走行												
	敷地内自動車ドアの 開閉音												
夜間(午後10時~午前6時)の等価騒音レベル (予測地点の用途地域、基準値)				A地点(高さ m)		予測dB			C地点(高さ m)			予測dB	
				B地点(高さ m)		予測dB			D地点(高さ m)			予測dB	

各予測地点の地域類型及び環境基準値 地域類型 環境基準値 dB以下

予測結果の評価について _____

- ・ 騒音予測地点は、建物の周囲4方向からそれぞれ近接した最も騒音の影響を受けやすい住宅等の立地又は立地可能な屋外 A地点、B地点、C地点、D地点とし、発生源と予測地点の関係がわかるよう、別添図面に各地点を記載してください。また、高層住宅等が隣接している場合には、仮に、遮音壁を設置してもその効果の及ばない高層住宅における騒音についても予測してください。(予測式等を用いた計算は、別添資料として添付してください。)
- ・ 防音壁の設置又は、騒音発生源が屋内に設置されている場合には、当該建物の壁面等の材質・構造及び当該騒音発生源の位置及び高さがわかる図面の添付。又、遮音壁の効果の根拠等の計算内容を示してください。
- ・ 予測地点の地域類型、環境基準値を記載してください。予測地点ごとに異なる場合はそれぞれ記載してください。
- ・ 予測結果の評価を行ってください。

16. 夜間において、営業、営業関連の機器の使用又は施設の運営に伴い騒音が発生することが見込まれる場合にあつては、その騒音の発生源ごとの騒音レベルの最大値の予測の結果及びその算出根拠を記載した書類【深夜営業その他の理由により、夜間騒音が発生する見込みがある場合のみ記載（午後11時～午前6時）】

【夜間】		発生源の 高さ (m)	騒音継続時 間(時~ 時)又は騒 音発生回数	基準距離における騒音 レベル等		測定値 の高さ (m)	予測地点までの距離 (m)				各予測地点における 騒音レベル(dB)			
騒音発生源				騒音レベル	根拠		E	F	G	H	E	F	G	H
定常騒音	冷却塔					E m								
	室外機													
	排気口													
	その他													
変動騒音・最大値	自動車走行					F m								
	荷捌きアイドリング													
	荷捌き後進ブザー					G m								
	廃棄物収集作業													
	BGM等						H m							
大値 衝撃騒音・最	荷捌き荷下ろし													
	荷捌き台車走行													
	敷地内自動車ドアの開閉音													

各予測地点の区域類型及び規制基準値 区域類型 規制基準値 dB以下

予測結果の評価について _____

- ・ 騒音予測地点は、隣接する住宅等への影響を考慮した高さにおける店舗の敷地境界 E地点、F地点、G地点、H地点とし、発生源と予測地点の関係がわかるよう、別添図面に各地点を記載してください。なお、壁等を設置する場合には、その背後に立地し又は立地可能な住宅等の屋外における騒音レベルも予測してください。(予測式等を用いた計算は、別添資料として添付してください。)
- ・ 防音壁の設置又は、騒音発生源が屋内に設置されている場合には、当該建物の壁面等の材質・構造及び当該騒音発生源の位置及び高さがわかる図面の添付。又、遮音壁の効果の根拠等の計算内容を示してください。
- ・ 予測地点の区域類型、規制基準値を記載してください。予測地点ごとに異なる場合はそれぞれ記載してください。
- ・ 予測結果の評価を行ってください。

17. 廃棄物等の保管施設の計画に関する事項を記載した書類

廃棄物等の排出量等の予測

ア 小売店、音楽・映像記録物賃貸業を営む施設

廃棄物種別	S 店舗面積	A 廃棄物排出量原単位	S × A 1日あたり廃棄物排出量	B 平均保管日数	C 見かけ比重 t / m ³	S × A × B ÷ C 排出予測量
紙製廃棄物	千m ²	t / 千m ²	t	日		m ³
空き缶・空き瓶	千m ²	t / 千m ²	t	日		m ³
厨芥その他	千m ²	t / 千m ²	t	日		m ³
小売店、音楽・映像記録物賃貸業を営む施設計						m ³

イ 飲食店

廃棄物種別	S 店舗面積	A 廃棄物排出量原単位	S × A 1日あたり廃棄物排出量	B 平均保管日数	C 見かけ比重 t / m ³	S × A × B ÷ C 排出予測量
紙製廃棄物	千m ²	t / 千m ²	t	日		m ³
空き缶・空き瓶	千m ²	t / 千m ²	t	日		m ³
厨芥その他	千m ²	t / 千m ²	t	日		m ³
飲食店計						m ³

ウ 興行場

廃棄物種別	S 店舗面積	A 廃棄物排出量原単位	S × A 1日あたり廃棄物排出量	B 平均保管日数	C 見かけ比重 t / m ³	S × A × B ÷ C 排出予測量
紙製廃棄物	千m ²	t / 千m ²	t	日		m ³
空き缶・空き瓶	千m ²	t / 千m ²	t	日		m ³
厨芥その他	千m ²	t / 千m ²	t	日		m ³
興行場計						m ³

排出予測量の合計	m ³
----------	----------------

店舗以外の施設からの廃棄物等の排出状況

【店舗以外の施設がある場合のみ記載】

廃棄物保管施設の状況	店舗と共用・店舗と別途確保
------------	---------------

店舗と共用の場合

店舗以外の施設からの廃棄物等の予測排出量	廃棄物等の排出量の予測の根拠
m ³	

18. 廃棄物減量化及びリサイクルについての計画に関する事項を記載した書類

廃棄物減量化及びリサイクル計画の予定及び概要	
周辺住民への周知方法	

19. 防災計画への協力に関する事項を記載した書類

防災計画への協力の予定及び概要	
-----------------	--

20. 街並みづくり等への配慮事項を記載した書類

街並みづくり等への配慮事項

--

敷地内の緑化計画

敷地面積	緑化面積	緑化の方法
m ²	m ²	

景観への配慮

<ul style="list-style-type: none"> ・ 建物完成予想図等を可能であれば添付してください

屋外照明・広告塔照明等の計画と公害対策

	屋外照明	広告塔照明
照明灯の配置	< 別添配置図上に記載 >	< 別添配置図上に記載 >
照明灯の方向		
照明の強さ		
点灯時間		
光害対策		

21. 雨水流出抑制施設の設置を記載した書類

雨水流出抑制施設の設置事項

<ul style="list-style-type: none"> ・ 雨水流出抑制施設図を添付してください。
